

# つながり

五中校区通信 No.5  
小中一貫教育推進コーディネーター

## 様々な取組が実施できた1年間でした。ご協力ありがとうございました。

乗り入れ授業担当者による各小学校週1勤務

9年間のカリキュラム（国語、算数・数学、社会、理科）の作成

小中の先生の困りごとについてのアンケート実施と通信でのフィードバック

校区教研・校区人研、校区研修の実施

五中生を一日体験しよう（中学校授業体験と部活体験）

次年度の校区の研究テーマ設定

いじめ防止キャラクターコンテストの実施といじめ防止動画の撮影 など

## 五中校区のめざす子ども像に関する i-check の数値変化（6月→12月）

### 【ゆめ】

1. 将来あんな人になりたい、こんなことがしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がありますか。 **82.6%→81.5%**
2. 友達の意見を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが深められたりして、勉強っておもしろいと思うことはありますか。 **69.5%→68.2%**

### 【つながり】

3. 話し合いをしているときや、友だちの相談にのっているときは、相手の話を最後まで聞いてから発言するよう、気をつけていますか。 **92.6%→92.2%**
4. クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得できるように考えて、提案していますか。 **61.3%→61.7%**

### 【あいさつ】

5. 近所の人に会った時にあいさつをしていますか。 **71.0%→68.9%**

全体的には下がっている項目が多いですが、誤差の範囲だと思います。中でも数値が向上した学年に要因を分析していただきました。次年度は、これらの項目を意識した取組を校区として進めていけるようにしていきたいです。

### <1について>

- ・ 2年生のまちたんけん・手話サークルさんとの出会い（萱小）
- ・ 3年生は校外学習にたくさん行き（図書館、消防署、スーパーなど）、直にいろいろな仕事や大人と触れ合うことができた（中小）
- ・ 6年生でキャリア教育として仕事調べを行った（中小）
- ・ 中2のキャリア教育で、自分たちで企業を立ち上げ、模擬クラウドファンディングを行う経験をした（五中）

### <2について>

- ・ 6年生で大きく伸びており、とも学の活用が原因と考えられる（萱小）
- ・ 中3では入試に向けて友達同士で勉強する姿が見られた（五中）

### <3について>

- ・ 1年生で大きく伸びており、「聞き方あいうえお」などの聞き方のルールについて考えた（萱小）
- ・ 中2でキャリア教育におけるマナーの学習、文化祭での取組でクラスで決定事をする経験（五中）

### <4について>

- ・ 3年生ではクラスの問題を自分たちで解決するようにさせた。（中小）
- ・ 6年生は実行委員会などを多く取り入れ、児童が前に立って話す機会がたくさんあった。（中小）
- ・ 中1では、国際理解学習や体育祭で話し合う機会が多かった。（五中）

### <5について>

- ・ あいさつ運動を児童会中心に行った（萱小）
- ・ 5年生が大きく伸びている。来年最高学年だと意識させる声掛けをしている。（中小）
- ・ 部活動に入部してきた生徒にあいさつの指導をしている。（五中）

## 最高学年はそれぞれの進路へ

夏に進路についての研修を校区で実施しました。そこでの学びを受けて実践したことをまとめました。それぞれの発達段階で「9年間のゴールやその先の進路を意識する」ことで変わっていくこともあると思います。

### 【萱野小学校】

- 進路や成績を意識して子どもたちに声かけをして授業を組み立てられました。
- 小学生なりに何が好き、何が得意を客観視する時間をとることができました。
- 自分自身の6年生がゴールという意識が変わり、声掛けの仕方なども変わりました。

### 【中小学校】

- 支援学級在籍児童のテストの評価の仕方
- 担当している2年生、5年生の保護者さんとの面談で、進路の話をするときにとっても役に立ちました。中学校から支援学校に行くかどうか悩んでいる保護者さんに、研修で聞いたことを具体的に伝えることで、進路決定の一助となったのではと思います。
- 中学校後の進路に関して、高校以外の選択肢も提示したり、「本人の本当にやりたいことができるように」ということをメインに話すことができた。

### 【第五中学校】

- 自分で中学2年生向けの進路学習を作成するときに、今回の話を活かして作ることができたと思います。
- 語句を覚えるだけでなく、自分の考えをもったり推論したりする授業やテストを実施した。
- 3月末のことをイメージし、そこから逆算して今何をすべきなのか伝えている。

## 6年生向けに進路学習を実施しました

「わからない」ことは不安です。中学校1年生の学年に所属すると、子どもたちからよく次のような不安の声が聞こえてきます。

- 怒られてばかりだと高校に行けなくなるの？
- 遅刻や欠席が多いと高校に行けなくなるの？
- 提出物が出せないとどうなるの？
- 高校入試ってどんなもの？
- 部活や委員会に入っていないと内申が下がるって本当？



それらの不安を解消して、安心して中学校生活をスタートするために、次の二つについて各小学校で説明しました。

- ① 高校入試制度の大まかな説明
- ② 中学校で何をがんばればいいのか



「毎日の授業を大切にすること」「友達を大切にすること」これらのことが入試にもつながっていくと伝えました。これらのことは中学校だけではなく小学校でも当たり前前に大切なことです。今回の進路学習が小学校での生活の充実にもつながることを願います。

## 次年度に向けて

今年度の活動をベースに、次年度は次のことにも取り組んでいけたらと思っています。校区運営会議でも承認されている内容です。

☆学年の区切りを「前期・中期・後期」のブロック制とする

☆五中校区のめざす子ども像に即した各発達段階での取組

☆校区の研究テーマ「言語能力の育成」に関する授業研究（校区教研）

☆ポジティブ行動支援に関する各校の取組推進と合同研修

1年間、本当にありがとうございました。